

テーマ展

「かがわの小さなハニワ天国」が開催しました。

3世紀前半頃から7世紀中頃にかけて、日本列島内では有力者の墓として古墳が築かれました。その古墳には、粘土を用いて形づくられ、焼き上げた「埴輪」が据えられました。現在の香川県域にも大小さまざまな数多くの古墳が築かれ、埴輪が樹立されました。

この埴輪について、当センター所蔵品を中心に、人物や動物、道具をかたどったもののうち、興味深い造形の逸品を展示します。これらを通じて、香川の埴輪に魅力を感じて頂けると幸いです。



高松市所在の大亀古墳群から出土した円筒埴輪と朝顔形埴輪



坂出市所在の別宮北古墳群2号墳から出土した馬形埴輪

- 1 会 期 前期 令和7年1月27日（月）～3月31日（月）
後期 令和7年4月1日（火）～5月30日（金）
9時～17時

休館日 土曜日、日曜日、祝日

（2月15日（土）、3月15日（土）は開館）

- 2 会 場 香川県埋蔵文化財センター 第1展示室

坂出市府中町南谷 5001-4

電話 0877-48-2191

- 3 観覧料 無料

- 4 展示資料 特殊器台・特殊壺型埴輪・箱形土製棺・円筒埴輪・朝顔形埴輪・家形埴輪
たてがたはにわ ふながたはにわ じんぶつはにわ うまがたはにわ
盾形埴輪・船形埴輪・人物埴輪・馬形埴輪（前期～後期）
とりがたどせいひん はんさいきだいがたはにわ いわみがたはにわ だえんとうがたはにわ そうきやくりんじょうもんがた
鳥形土製品・半裁器台形埴輪・石見形埴輪・楕円筒形埴輪・双脚輪状文形
埴輪（後期）など計35点、パネル7枚